

自分で考える、行動する子どもを目指すアートを軸にした多様な学びの場が、小鳥の学校です。鳥取県下全域の小学5年生から中学3年生までの元気な子どもたち18名が集まってくれました。毎年この時期恒例のこの上演は、その成果発表です。子どもたちが、演技だけでなく、舞台や音楽や衣装なども、自分で考えます。子どもたちの立派な仕事を、どうぞご覧ください。



自分で考えた。手を動かした。

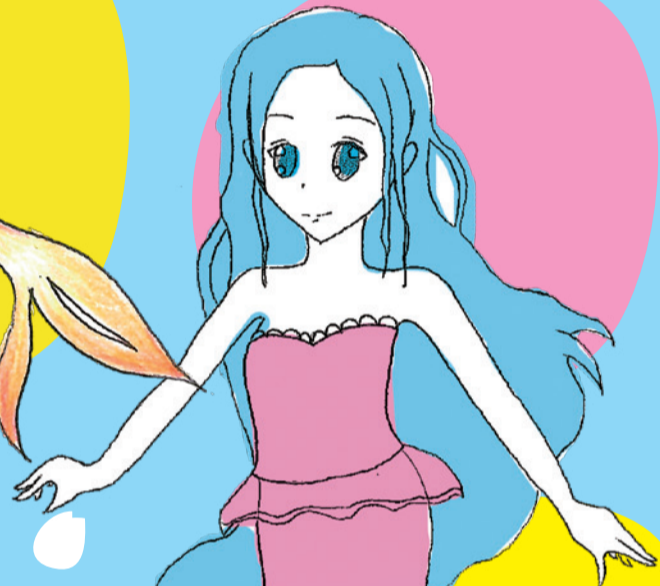
おそろべき子どもたち。

大人たちよ、背筋をのばせ、目をみはれ。



小鳥の学校発表公演

人魚姫



原作:寺山修司 構成・演出:小鳥の学校受講生と中島諒人 出演:小鳥の学校受講生

2014年3月29日(土)・30日(日) 14:00開演

鳥の劇場 (鳥取県鳥取市鹿野町 電話0857-84-3268)

School for Small Birds

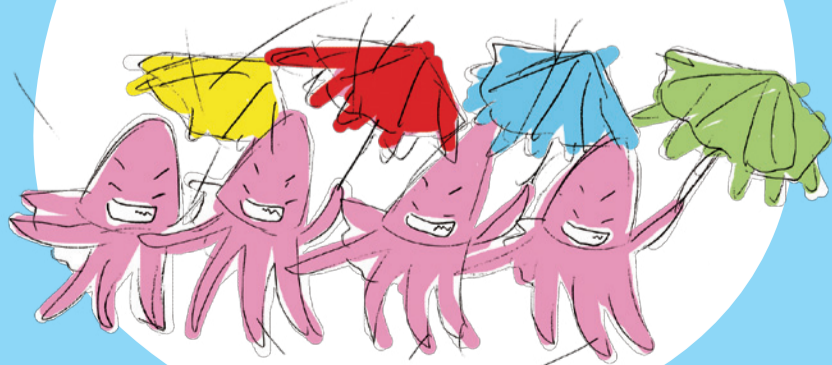
The Little Mermaid

Originally written by TERAYAMA Shuji

Conceived and directed by Pupils of School for Small Birds & NAKASHIMA Makoto

Performed by Pupils of School for Small Birds

2pm on March 29th & 30th 2014



小鳥の学校発表公演



人魚姫

出演：小鳥の学校受講生

生田由明乃 岩田大輝 岩田和也 岩見凱 表峰七登 加藤日向
河本望実 佐藤悠希 佐藤恒輝 白岩那菜 鶴崎紗礼 戸田リリア
中島紀子 西川響 堀真暢 牧野美湖 三谷梨華 安井桃華

原作：寺山修司 構成・演出：小鳥の学校受講生と中島諒人

2014年3月29日(土)・30日(日) 14:00開演
鳥の劇場 (鳥取県鳥取市鹿野町 電話0857-84-3268)

チケット 大人：500円/高校生以下無料
チケットのご予約は、電話、ウェブ、電子メールでお受けします。
料金はご来場時にお支払いください。※予約受付は3月4日(火)より
電話/0857-84-3268
ウェブ/www.birdtheatre.org
電子メール/ticket@birdtheatre.org

日本の学校は同調圧力が強いと言われる。そもそも人間は、一人ひとりがかなり違って、でも驚くほど同じところもあって、そのどっちに力点を置いて人材を育てるかは、国や文化によって異なっている。日本は、同じであることを大切に、それを学校でも社会でも重視する傾向がある。聖徳太子の時代にまでさかのぼって、日本人の精神的固有性を唱える人もあるし、集団的・集約的な稲作の伝統にその根を求め人もある。ともあれ、「同じ」を大切にすることは日本の経済成長には大きなプラスであった。工場の大量生産のラインでは、確実に正確に誠実に均一な仕事を提供する人材が求められたのだから。でも、社会も経済も政治の環境も大きく変わりつつある。「和」は大切だが、これだけ価値観が多様化したり、外国の人も入ったりする中で、暗黙の「和」はあり得ない。話し合っ、すり合わせ、納得しての「和」でなければ、それは抑圧や排除でしかない。工場の少品種大量生産も、多品種少量生産にシフトしている。我々は今まで内に秘めてきたそれぞれの違いをもっと表に出して、その違いをそれぞれに伸ばし、違いを前提にして「和」を作ることにもつとめなければならない。違いを前提にした人材の育成。しかし、その違いをどうすくい取るのか。それぞれの才能に、大人がどう気づくか。なんでもとつとめてくれる子がいる。でも、それは適応力や学習力の話で、ここでいう才能とはちよつと別の話。逆に何をやっても上手にできない子もいる。しかし、きっと何か才能はある。才能とは、何かを生み出す力ではあるが、その始めは、何かへの没頭として姿を現すのではないか。成果ではなく過程の姿として。だから、学びは、もちろん習得が目標ではあるのだが、没頭できるものを探る過程でもあり、そのために学びのメニューは多様に設定されなければならないし、評価も多彩で繊細でなければならない。



小鳥の学校では、アートだけでなく自然科学や社会科学の学びも取り入れてきた。今年は、科学者の中村栄三さんと社会学者の大澤真幸さんにお越しいただいた。ご両名とも普段小中学生に教えることなどない第一線の研究者である。子どもたちにとっては不思議の連続だったと思う。しかし、「わかる」ことよりも、ワクワクしたり、「え、それどういふこと」とか、「こんな見方もあるんだな」というワンダー体験こそ、未来につながる貴重な宝となるはずだ。



世界を驚きをもって見詰め、その不思議に分け入る方法として学問がある。アートや演劇も本質部分では目的を共有する。今年の授業は演劇を軸にしたが、アニメーションの実作にも取り組み、映画の批評的読解などにも挑戦した。

芸術は、他人と違わなければ意味がない。でも学校という均質空間に適応した子供たちはなかなか自由になりづらい。しかし、それでも子ども達の才能は、必ずどこかで顔を見せる。そのわずかな芽吹きを見逃さないこと。ちよつとした思いつきを外化できる、それを冷やかにして尊敬の対象とできる場をすること。小鳥の学校の空間、時間で大切にしてきたことだ。



「人魚姫」に子ども達は二つの関わり方をする。役者として、スタッフとして。スタッフは、舞台美術、音響・音楽、衣装・小道具の三つから所属を選び、それぞれの仕事の概要やテクニックをざつと学んだ上で、自分のイメージを作り、それを他の同グループの人のアイデアとすり合わせ、芝居全体も見ながらプランを確定させ、時間の許す限り製作作業も行う。ここまで子ども達にやらせるのは、小鳥の学校としても初めての試みだし、全国的にも珍しい芝居作りだと思ふ。

公共の場としての劇場であらうとしている鳥の劇場にとって、未来の人材作りに関わる「小鳥の学校」事業は、非常に意味の大きな仕事だと考えている。多くの方にご覧いただきたい。

鳥の劇場芸術監督 中島諒人

2013年度 小鳥の学校 授業実施概要

- 2013年7月20日(土) 入校説明・自己紹介/ノーベル科学賞受賞白川英樹博士講演会(鳥取県立博物館)に参加
- 7月21日(日) ハンガリーダンスを踊ってみよう(パタリタ/舞踏家(ハンガリー)) / 台本を読んで考えよう：『人魚姫』を題材に
- 7月27日(土) 映画を観て考えよう：『サウンド・オブ・ミュージック』を題材に
- 7月28日(日) 台本を読んで考えよう：『一寸法師』を題材に
- 8月24日(土)・25日(日) 合唱をしてみよう(武中淳彦/鳥の劇場) / 『一寸法師』を演じてみよう
- 9月16日(月・祝) 『一寸法師』を鳥の演劇祭6「子どものいちにち。」にて上演
- 10月20日(日) フランス人俳優ディディエさんに演劇を学ぼう(ディディエ・ガラス/俳優(フランス))
- 10月27日(日) 科学の学び〜破壊について考えよう(中村栄三/科学者)
- 11月23日(土・祝) 映画を観て考えよう：『のび太の恐竜』を題材に
- 11月24日(日) フィンランドの人形劇について学ぼう(イイダ・ヴァンタヤ/人形劇作家(フィンランド)) / 『人魚姫』を演じてみよう
- 2014年1月11日(土)・12日(日) アニメーションの学び〜『人魚姫』の冒頭シーンをつくってみよう(大下志穂/アーティスト)
- 2月9日(日) 社会学〜『あまちゃん』を題材に社会について考えよう(大澤真幸/社会学者)
- 2月22日(土)・23日(日) 舞台美術、音響・音楽、衣装・小道具について学ぼう / 『人魚姫』を演じてみよう
- 3月1日(土)・2日(日) 『人魚姫』を演じてみよう / 『人魚姫』の舞台美術、音楽、衣装プランをたてよう



主催：特定非営利活動法人鳥の劇場 後援：鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野

助成：平成25年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 公益財団法人福武財団

鳥の劇場へのアクセス 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話：0857-84-3268

公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします(無料、要予約)。最寄りのJR浜村駅から劇場まで、車で約15分かかります。

- JRを使って 劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。 ※公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします(無料、要予約)。 □浜村駅まで ・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分 ・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分 ・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分 □浜村駅から ・車で15分
- 車を使って 公演日は会場近くに案内看板を設置します。 ・鳥取自動車道、鳥取西ICから約30分 ・鳥取空港から約20分 ・鳥取市中心部から約30分 ・倉吉市中心部から約45分 ・米子市中心部から約1時間30分
- 東京 飛行機 約1時間10分(羽田空港-鳥取空港) JR 約5時間(東京駅-鳥取駅)
- 京都 JR 約3時間(京都駅-鳥取駅) 車 約3時間(中国自動車道-鳥取自動車道)
- 大阪 JR 約2時間30分(新大阪駅-鳥取駅) 車 約2時間30分(名神高速道路-中国自動車道-鳥取自動車道)
- 岡山 JR 約2時間(岡山駅-鳥取駅) 車 約2時間30分(国道53号-鳥取自動車道)

※ご宿泊について □山紫苑 0857-84-2211 www.sanshien.jp □お宿夢彦 0857-84-2411 www.yumehiko.co.jp □旅風庵 0857-82-0531 www.ryofuan.com 劇場への送迎については、宿へ直接ご相談ください。

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために

- 送迎します JR浜村駅と劇場の間を車で送迎いたします。(無料、要予約)
- 託児します 小さいお子さまをお預かりします。(無料、要予約)
- 鳥のカフェがあります 上演の前後に各種ソフトドリンクや鳥のせんべいを販売します。
- バリアフリーをめざします 障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡ください。



特定非営利活動法人鳥の劇場 ウェブサイト www.birdtheatre.org 電子メール info@birdtheatre.org 劇場：〒689-0405 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話・ファックス 0857-84-3268 / 事務所：〒680-0833 鳥取県鳥取市末広温泉町122-3F 電話・ファックス 0857-23-2224